

平成30年度 軽スポーツレクリエーション大会 フライングディスク（個人戦）競技要領及び規則

〔競技種目〕

- (1) アキュラシー競技：ディスリート・ファイブ（5m）

〔競技要領〕

- (1) アキュラシーゴール（標的）は内径 91.5cm の円形、パイプの径は 2.5cm とし、アキュラシーゴールの前面がスローイングラインと平行で外形の最下部が 61cm になるようにする。
- (2) 競技者は 10 回（投）連続して試技を行い、得点はディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴール（標的）を通過した回数とする。
- (3) 競技者が視覚障害者の場合、競技役員がアキュラシーゴール後方 3m の距離から音源で知らせることができる。

〔競技規則〕

- (1) 得点と同じであった場合、第 1 得点を先に取得した者が勝者となる。第 1 得点と同じであれば、順次、次の得点によって決定する。それでも決しない場合は 1 セット（3 投）の再投を行い、得点の多さで順位を決定する。再投は順位が決定するまで最大 5 セットとしそれでも決しない場合は同順位とする。
- (2) 試技の時間は、競技者が 1 投目のディスクを受け取ってから 5 分以内とする。5 分をこえた試技は無効とする。
- (3) 競技者がスローイングラインの前面を除く上部に触れるか、踏みこえたときには無効とする。
- (4) 車椅子または椅子の設置面がスローイングラインの上部または外側の地面に触れるか、踏みこえたときには無効とする。フットレストがスローイングライン上の空間に出るのは認める。
- (5) 無効となったスローイングは、1 回の試技とみなされる。
- (6) 上記以外については全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。